

計画の考え方

御社の新たな拠点として、建設される（仮）大阪工場において、ガラスアンプル等の医薬関連のガラス製品を中心に生産されておられる工場の特徴から、クリーンな企業のイメージと結びつくことができる屋外空間として、修景緑化の提案をおこないます。

屋外空間は、来客者を迎える玄関口であり建物内へと連続する工場空間の一部として重要な空間であり、みどりの積極的な導入は、御社のイメージをより高め、場内景観の向上にもつながります。

みどりの空間は、国内外からの来客者を迎えるもてなし空間であり、従業員の方々の休息・安らぎ空間として、さまざまな心理的な効果を与えてくれます。

そのため、みどりの空間整備は重要な役割を果たします。

計画テーマ

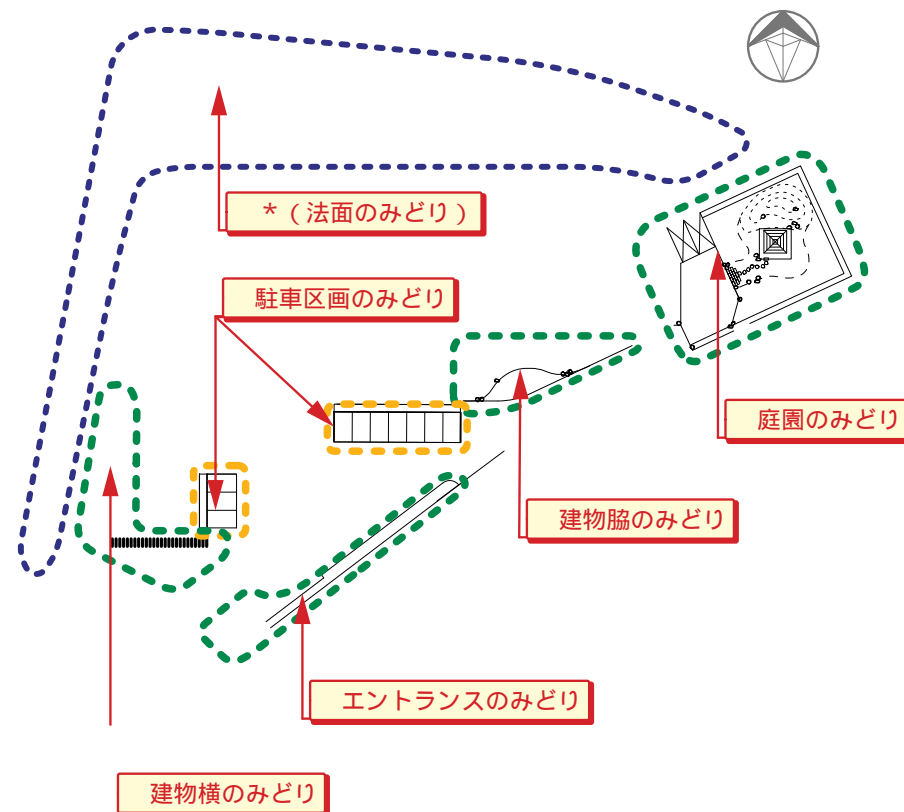
『顔づくりともてなし空間づくり』

みどりの配置（前提条件）

計画の前提条件として、屋外空間における修景緑化の場所については、建物周辺の余地部や、現在駐車場として計画されている箇所について緑地に改変した場合を提案いたします。

対象箇所は、 エントランス、 建物横、 駐車区画、 建物脇、 庭園、 *法面の計6箇所。

みどりのゾーン配置図



みどりの基本方針

- ・ エントランスとしての顔づくり
- ・ 国内外からの来客者に対応できる空間
- ・ 従業員の休息空間として利用できる空間
- ・ 建物内外からの見え方に配慮した演出
- ・ 四季の変化が楽しめる演出

みどりの個別計画

各箇所におけるみどりの導入についての考え方は、つぎのとおりとします。

エントランスのみどり

入口側にシンボルとなる大高木を配置し、樹木のランドマークと記念樹的な役割をもたせる。

場内側は、外周道路と場内通路が接することから、植栽帯を設け高木を並木に配植することで、緑の緩衝帯を確保する。

連続する並木により、空間にやわらかさとリズム感を持たせる。

建物横のみどり

建物内から屋外（窓外）への視線に配慮し、社長室や応接室、業務室などの各部屋から花や紅葉が眺められることで窓越しのうらおいある空間を演出する。

駐車区画のみどり

アスファルト舗装で構成される駐車区画に植栽帯を確保し、芝生ブロック舗装で芝生化を図ることで、視覚的に和らぎある駐車場とする芝生ブロック舗装とすることで、舗装面の約45%程度を芝生化でき、夏季の駐車場における路面温度上昇の緩和につなげる。

建物脇のみどり

建物脇のコーナー部分は、場内通路から見える窓越しのみどりと、場外の建物際の修景を兼ねた緑地空間として演出する。

庭園のみどり

現況計画されている駐車場用地を緑地スペースにし、国内外（特に外国）からの来客者の方に屋外も案内でき、懇談等にも利用できる休憩空間とする。

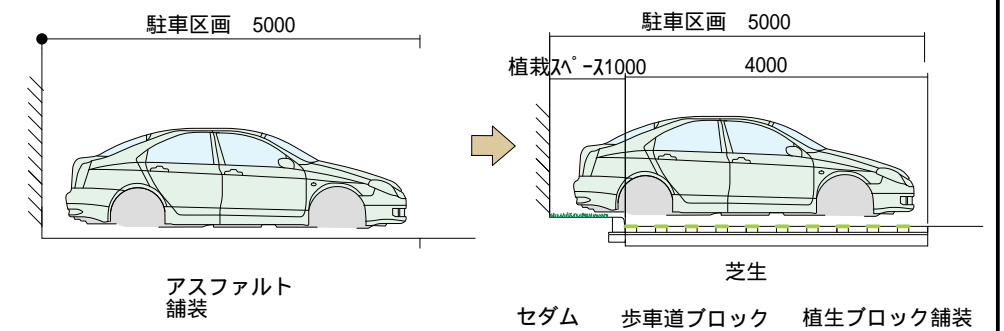
緑地は、竹や石組、築山などで構成させ、和風の庭をイメージした庭園空間とする。

*法面のみどり

敷地の1/3程度を占める法面については、現状のかたちで放置した場合、雑草の繁茂が予想され草刈等の維持管理を必要とするため、芝生他で早期に法面の被覆を行う必要がある。

部分計画

における駐車区画みどりの方法については、駒止めを兼ねた縁石を設置し植栽帯を設け、舗装面は芝生ブロック舗装にする。



参考図（社名板）；

会社の表札の役割を担うシンボリックな社名板の設置も企業イメージを高め、引き立たせることができる。

ガラスアンプルをデザインモチーフにした円筒形の列柱によるゲートサイン案。

